

令和6年度 事業計画

1. 基本方針（理事長：窪田 茂）

令和6年1月1日の正月に起こった能登半島地震は、あまりにも多くの被害と被災者が出てしまいました。1ヶ月経ってもまだ被災地はそのままの状況が続き、インフラの整備も追いつかず、15,000人の方が避難所での生活を強いられています。

日本は本当に災害が多く、地震、台風、豪雨、津波など、毎年のように大きな災害が起こっており、日本のどこであっても災害が起こる可能性があります。そこで、JCDは全国組織ですので、今まで培ってきた支部間のコミュニティを活かし、お互いがそれぞれサポート出来るような体制づくりをします。また、今回の能登半島地震においても、義援金の募集をし、北陸支部の支援活動のサポート、または被災地への直接支援を行うことにしております。

さて一方で、今年、JCDは選挙の年です。選挙次第で新しい体制が変わっていくかもしれませんが、いつまでも良い関係が続くような仕組みづくりをしたいと考えております。上記の被災地支援の連絡体制と仕組みづくりもそのひとつです。また、理事会で承認されているアンバサダー制度も、令和6年度からスタートをさせます。メンバー同士の関係強化、JCDの認知度向上、メンバーである事のメリットを創り出し、JCDのメンバーになって良かったと思えるような環境を目指していきたいと考えております。

さらに、海外にもデザインの輪を広げていき、日本のデザイナーが世界で活躍できるようなルートを、さらに開拓していきたいと思っております。

本年度から、会員名簿の名前の下に星マークを入れました。これは正会員、賛助会員の会員継続年数に合わせて、星の数を変えて記載しております。これは永きに渡ってJCDの活動に支援を頂いた方々への感謝の記しでもあり、また、10年、20年の方々には感謝状を、30年、40年、50年以上の会員方々は総会にお呼びし、感謝状と盾をお渡ししたいと思っております。

2. 主要事業計画の概要

(1) 事業部（部長：大滝道晴）

<委員会全体>

○改選のより、各事業部の委員会の新組織表のアンケート調査を作成実施予定。

（方針、予算計画等）

（委員長、副委員長、各役割、コアメンバー表等）

*各委員会の内容の「見える化」を明確にする。

*各委員会はコアメンバーに、賛助会員のメンバー参加を促す。

*各委員会は、収支確認を徹底する。

○お願い事項：本部事業及び各委員会において、セミナー及びイベントに賛助企業の方々にお手伝い等を依頼した場合、映像やフライヤー等に協力企業として、極力、企業名を表記して下さい。

① デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

令和6年度は応募数増強と経済的余裕のあるアワード経営を最大目的とし、応募前の告知活動を強化する。East Gathering 再開による香港、台湾との連携や中国などアジア諸国、そして iF を通してヨーロッパにも告知をしていく。

日本空間デザイン賞 2024 の事業計画は以下であるが、日にちはあくまでも仮の日程。

○2024年1月中旬令和6年度日本空間デザイン賞委員会キックオフミーティングを開催。

これ以降、月一回の定例会議とする。

○2月末までに三次審査員の決定

○応募要項の告知を早期に開始する。

○2024年3月29日（金）～5月15日（水）公募期間

○5月29日一次審査員への審査方法説明（WEB会議）

○5月31日（金）～6月7日（金）WEB一次審査

（審査員Aグループ30名、Bグループ30名、Cグループ30名、合計90名）

専門性を強めた審査員構成とする。

○6月13日（木）一次審査後事前チェック

○6月15日（土）一次審査調整会議 入選/Longlist を決定。17日 Longlist 速報

○6月26日（水）～7月2日（火）WEB二次審査

（審査員Aグループ8名、Bグループ10名、Cグループ10名、理事9名、合計34名）

○7月4日（木）二次審査事前チェック

○7月6日（土）二次審査調整会議 入賞/Short List を決定。11日 Shortlist 速報

○7月12日（金）～31日（水） Short List 受賞者のA2ボード2枚製作期間

○8月1日（木）～19日（月）三次審査員による事前WEB審査

○8月24日（土）三次・最終審査 11ジャンル各々に金賞、銀賞、銅賞を選出

場所は五反田東京デザインセンター、ライブ配信を行う。同日、非公開で金賞11作品から KUKAN OF THE YEAR 1～3 作品を選出。発表は後日贈賞式において行う。

○10月18日（金）贈賞式及び懇親会 場所は未定

●iFデザイン賞（ドイツ）との双方の連携、特典の設定を推し進めていく。

- 受賞者は年鑑に掲載予定
- GOOD DESIGN Marunouchi において KUKAN DESIGN AWARD 2024 展を開催
トークイベント、懇親会を計画
- 「デザインツーリズム視察ツアー」が両協会の会員メリットとなるように活動の輪を広げていく。

② Soda 委員会（委員長：新藤 力）

令和 5 年 5 月 8 日、新型コロナウイルス感染症 5 類以降、社会生活が再開してまいりました。昨年も、新規小学校から出前授業の依頼がございました。今年度は新規小学校の開拓を積極的に進めるとともに、中断を余儀なくされた定点校での出前授業再開と定例化に向けて先生方と意識の共有を図りたいと思います。また、今年度出前授業を実施した葛飾区立宝木塚小学校では 2025 年度校舎建替への計画があることから、水元小学校「旧校舎ありがとう!!プロジェクト」の実績を紹介。区の学校施設課との連携を模索し、プロジェクトの実施を提案したいと考えています。今後も全国での継続的な活動を目指しながら、Soda 活動の可能性についてチャレンジしていきたいと考えています。

③ シンポジウム委員会（委員長：飯島直樹）

シンポジウム委員会の継続事業である「デザインシンポジウム SECTION」を、秋に実行の予定です。5 月には JCD メンバーの剣持良美氏が登壇のタカハシツキイチが予定されており、今年度は、若い世代の新たなデザインシーンを掘り起こす計画とします。

④ 広報委員会（委員長：水谷晶人）

- 1) 「ウェブサイト・SNSを利用した広報のシステム化」の強化
- 2) 役員改正後の新情報を掲載したJCDパンフレットvoi. 07の発行
- 3) SHOKANKY088(JCD WALLPAPER 02)の発行
- 4) 「デザイナーのオフィス訪問」の開催
- 5) 「PR TIMES」広報活動を予定。
- 6) クラウドサーバーの活用について進行予定。
- 7) JCDウェブサイトの見直し検討 (UI、UX)

⑤ 国際委員会（委員長：武石正宣）

今年は EG を日本で開催する予定の年度です。香港、台湾の多くの参加者から北海道での開催が望まれました。

そこでいろいろな調整を経て、年を超えた 2025 年 2 月 20 日木曜日午後からスタート、21 日セミナーとパーティー。22 日からエクスカージョンを行うという計画に落ち着きそうです。詳細はこれからですが、日本での久しぶりの開催となる為、JCD から多くの参加をしていただければと考えています。

⑥ 賛助委員会（委員長：羽隅斉明）

1. プロダクト・オブ・ザ・イヤー2024

令和 5 年度同様に 5 月頃からエントリーを開始。一次審査（予選）、二次審査（本選）で開催し二次審査はリアル+Web 配信、表彰式は賀詞交歓会が望ましい。月 1 回の賛助委員会に加え、分科会など開き、二次審査の会場なども含め詳細を詰めていく。

またエントリー時には受賞、入賞の場合はジャパンショップへの出展に費用がかかる旨なども案内する。

収支に関しては 12 万赤字の状況。改善策を引き続き委員会会議にて議論していく。

2. ジャパンショップ 2025 他、展示会への出展

POY 受賞製品の発表の場は今後も必須と捉えており、引き続きジャパンショップ委員会とも連携し取り組んでいく。以外の展示会出展においても条件次第で検討する。

⑦ 空間委員会（委員長：谷尻 誠）（代行：飯島シンポジウム委員長/空間デザイン機構理事）

「年鑑日本の空間デザイン」は BOOK デザイナーの更新時期にあり、新しいデザイナーの選定に入ります。ご期待ください。JAPAN SHOP の日本空間デザイン賞展示についても、GOOD DESIGN Marunouchi の展示手法と合わせて検討し、新たな場面にむけて協議します。こちらもご期待ください。

⑧ 交流委員会（委員長：折原 美紀）

- ・リアル女子会を定期的で開催していければと思っております。
- ・JCD CYCLE 活動の深度も深めていければと思っております。
（船場さんとのトークイベントも計画中）
- ・各イベントへの協力や他団体との交流などを引き続き行っていきます。

⑨ Japan Shop 2024 JCD ブース実行委員会（委員長：剣持良美）（代行：永井副理事長）

予定時期：2024年3月12日～15日、4日間開催予定（JAPAN SHOP 2024 開催時）

場 所：東京ビッグサイト 東4ホール

実 行：委員会メンバーは2023年と同様とする

委 員 長：剣持良美、副委員長：木村倫香・戸矢崎弘美・羽隅斉明・村上敦、

委員：斎藤 忍・大西 亮・松田好且・奥 俊介・伊東 裕他

設 計：SOL Style（伊東 裕・剣持良美）

施 工：(株)アービックジャパン（3社相見積の上、最安値業者を選定）

協 力：日経新聞社

予定内容：「注目される空間デザイナー33名/U45」の空間デザイナー33名の作品展示

「注目される空間デザイナー33名/U45」冊子製作・会場では無料配布

「デザイントーク13」参加デザイナー13名によるデザイントーク+配信

「PRODUCT OF THE YEAR 2023」入賞製品の展示

「PRODUCT OF THE YEAR 2023」全受賞製品プレゼンテーション+審査員対談

「SODA 活動」説明パネルと模型展示

目 的：JCD 活動規模及び認知度向上、商環境デザインの重要性の再認識を促す。

経緯報告：2023年は26コマ、その内6.5コマ相当分をPOY（プロダクトオブザイヤー）

として賛助委員会が負担する形とした。日本経済新聞社のJCD 企画に対する

評価も高く、演出強化、デザイナー紹介冊子等も作成。

JCD に対する PR 効果は大きいと考える。

展示内容：計26コマ

「注目される空間デザイナー33名/U45」

JCD 会員の枠にとらわれず、複数のデザイン賞受賞履歴の有る活躍中の45歳以下の

活躍中のデザイナーを実行委員会内にて選出。JPS を通じて全国に発信、JCD の活動

規模及び、知名度向上とともに正会員の増強を図る。

「PRODUCT OF THE YEAR 2023」

プロダクトオブザイヤーの入賞製品を JPS を通じて全国に発信、POY の知名度向上と

ともに公開アワードへの準備と賛助会員の増強を図る

「SODA 活動」

向上説明パネルと模型展示による認知度を図る

次ページ資料参照（部外秘でお願いします）

(2) 支部統括部 (部長：小田秀樹)

■令和6年度・全国支部長会議事業計画

- 1) 今期も引き続き全国支部長会議を Zoom 会議で 2～3 ヶ月毎に開催をする。
- 2) JCD design circuit ○○支部を 5 支部で開催する。
 - 九州支部、四国支部、関西支部、北陸支部、北海道支部
 - 開催内容はセミナー、デザイン賞パネル展、学生コンペなどを支部の裁量で開催する。
 - 開催支部はアーカイブとして「録画、写真、開催レポート」を記録して本部へ提出する。
- 3) 11 月下旬頃にリアル支部長会議を関西支部主催で開催する。
 - 本年度より理事の旅費経費は本部負担とし、他の参加者は各支部負担とする。
- 4) 各支部のイベント案内は本部・広報委員会に資料提出して JCD ホームページに事前告知していただく。
- 5) 今期も会員の増強に各支部努力を行い最低 2 名の会員増を目標とする。
- 6) 各支部のイベント活動の回数を増やす様に努める。

① 北海道支部 (支部長：高橋 恵)

今年度の活動方針

「デザインの必要性和ネットワークの大切さを JCD の活動を通して広めていこう」

支部の活動が活性化されれば自ずと会員増強につながります。参加を促すマメな声かけを行い、会員同士の横のつながりの強化、賛助会員とのつながりの強化、他団体との交流など北海道支部のデザインの活性化を目指してまいります。

北海道支部総会

【概要】 令和 4 年度活動及び収支報告、令和 5 年度活動計画、予算 (案) 承認など

【日程】 令和 5 年 4 月下旬 場所、日程未定

運営会議

【日程】 5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月予定

全国総会、デザインキャンプ、SODA、アワードの打合せ

デザインキャンプ

【日程】 8 月下旬 場所未定

Soda in 桑園小学校 【日程】 12 月 場所未定

北海道のデザイン 6 団体合同のクリスマスパーティー

【日程】 12 月

昨年 120 名の参加いただいたデザイナーズクリスマスパーティー

北海道インテリアプランナー協会、北海道インテリアコーディネーター協会、北海道デザイン協議会、JIA、DSA、JCD 北海道支部との6団体合同のイベントを今年も行います。

北海道支部パネル展＋ design circuit

【日程】 2月上旬 場所 地下歩行空間 チカホにて
セミナー開催

鍋塾

【日程】 2月上旬 アワードの打ち上げ、懇親会と兼ねて。

②東北支部（支部長：大塚真司）

【今年度の方針・目標】

- ・東北支部主催のデザインアワードの方法、仕組みを構築し、2025年度開催に向けて準備を進める。
- ・正会員の高齢化に伴い、若手のデザイナーの発掘及び正会員の勧誘に力を入れる。
- ・デザインサーキットの様なセミナーの開催

【主な活動スケジュール】

- 4月初旬 東北支部役員会
- ・令和6年度活動計画及び令和5年度収支報告
 - ・Soda 実行委員選定
- 6月28日 東北支部定時総会（郡山市予定）
- ・地区長会議/通常総会（収支報告・活動計画・予算案等の承認）
 - ・賛助会員企業、商品PR
 - ・勉強会（正会員に依るデザイン発表会）
- 6月29日 東北支部ゴルフコンペ（福島県内予定）
- 7月26日 ビアパーティー開催
- 9月 デザインキャンプ（山形県庄内地区予定）
- ・建築/インテリア視察
 - ・賛助会員企業、商品PR
 - ・勉強会（正会員に依るデザイン発表会）
- 10月5日 東北支部ゴルフコンペ（宮城県内予定）
- 10月上旬 トップデザイナーを招いてのセミナー開催
- 11月 Soda ワークショップ開催（山形市立第九小学校）開催日未定
- 12月上旬 忘年会

1 2 月 日本空間デザイン賞+日本サインデザイン賞 2024 受賞作品展示会
(JCD/DSA/SDA 共同開催)

・東北工業大学一番町ギャラリー

1 月 Soda ワークショップ開催 (郡山市内小学校) 開催日未定

③ 関東支部 (支部長: 木村倫香)

■研究セミナー委員会: 福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、木之内憲子委員

○令和 6 年度年度事業計画

1. 4 月「とくトーク」⇒会場: トミタ・ショールーム
2. 7 月「とくトーク」開催予定
3. 10 月「とくトーク」開催予定
4. 2025 年 2 月「とくトーク」開催予定

■支部賛助委員会: 品川正之委員長、原康喜副委員長、松田好且副委員長、藤原巧副委員長、
棟方義雅副委員長、藤光祐副委員長

○令和 6 年度活動予定

原則月 1 回の委員会を開催し、下記掲載の活動目標の推進を図る。

- ・関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る。
※正会員の委員会への参加要請、本部賛助委員会、Soda 委員会への協力等。

※交流を促進するための恒例の親睦イベントを企画する。

(熱海花火会、BQQ 会、ボーリング会等)

- ・賛助会員のビジネスに寄与できるイベント等の企画をする。
※とくトーク、ノレンカイ、開催について研究セミナー委員会と協議検討する。
※ノレンカイとしてのユーチューブチャンネルの充実を図る。
※ホームページ賛助企業ショールームマップに新規会員の情報を追記する。
- ・賛助会員の意見を集約し、協会に意見具申する。
- ・関東支部の他委員会と連携して、関東支部のイベントのサポートにあたる。

■広報委員会: 大滝道晴委員長

○令和 6 年度年度活動計画

次年度からは、新しい組織及びメンバー構成により JCD 関東のホームページにて
Web 型の刷新された機関誌情報として掲載予定。(詳細、構成メンバーは未定)

■メディア委員会: 水谷晶人委員長、中村茂雄委員

○令和 6 年度-事業計画

「JCD 関東支部ウェブサイト」の監理と SNS 関東支部ページの監理

- 1) 引き続き情報の即時性を重視。
- 2) 関東支部会員変更による更新作業
- 3) 関東支部賛助会員変更による更新作業を実行。
- 4) 関東支部イベントの情報の更新。
- 5) ウェブサイトでの新会員紹介の実行

■交流委員会：折原美紀委員長、村上敦副委員長

○令和6年度上期の活動計画

- ・5月に総会が東京で開催されるので、その準備に全面協力しようと思います。
- ・パーティー及び勉強会の開催も計画していきます。
- ・各関東支部イベントのフォロー等

■特別委員会：香野明徳委員長、山岸布美副委員長

○令和6年度計画

本年度も海外への研修旅行を企画しています。

支部会員の皆さまからのご要望等を伺いながら、見識及び会員同士の親睦を深められる有意義な研修旅行の企画・実施を行います。

予定日程 10月～11月頃（3泊4日程度）

④ 北陸支部（支部長：木村嘉秀）

令和6年1月元日に起きた能登沖地震の復興支援を非正規活動ではありますが、支援物資運搬などコツコツと続けています。今後は人的支援も必要になってきます。JCD 北陸としても直接的にも間接的にも被災地支援をやり続けます。

また正会員を1年で2名増やす事を目的に勧誘活動を進めていきます。

令和6年

●6月下旬ごろ JCD デザイナートークテーブル開催予定

北陸で活躍するデザイナーのトークセッション+立食形式のトークテーブル

●7月中旬ごろ 5 DAYS 合同デザインインターンシップ開催予定

●9月中旬ごろ デザインサーキット IN 金沢開催予定

震災の風評もあり金沢の飲食店・宿泊業のキャンセルが相次いでいます。

その時期の雰囲気はまだ読めませんが、被災地支援としても金沢でお金を落として欲しいので沢山の方々に来ていただきたいです。

●11月下旬ごろ JCD デザイナートークテーブル第二弾開催予定

北陸で活躍するデザイナーのトークセッション+立食形式のトークテーブル

●12月中旬 JCD 北陸忘年会開催予定

令和7年

●2月初旬 空間デザインフォーラム（金沢）26回目

JCD DSA SDA 三団体合同イベント

- ・昨年に引き続き出来るだけ他支部のイベントにもお邪魔したいです。
- ・新しい企画「デザイナートークテーブル」を継続イベントとして年二回を目標に開催したいです。学生への啓蒙、一般の方への認知度UPにつなげていきます。

⑤ 中部支部（支部長：鳥居佳則）

今期は中部支部のデザインイベントに新風を起こすことに注力する。

全国支部の会員たちのデザインに対する意気込みを感じ取り、中部の新たなあり方を摸索し、中部らしい画期的なイベントを開催できるよう注力して行きます。

継続中のデザイントークセッション「SASHIDE」の活動が会員増強に繋がるよう努めて参ります。

4月24日 第4回デザイントークセッション「SASHIDE」&記念パーティー開催

- ・加藤和雄×鳥居佳則「デザインの本質に迫る」

5月25日 定時総会（関東支部）出席

6月 支部会議予定—賛助会員も参加

- ・第5回デザイントークセッション「SASHIDE」について
- ・支部総会について
- ・「中部商空間賞」学生部門公開審査について

7月 支部会議予定

- ・支部総会について、夏季のイベントについて

8月 第5回デザイントークセッション「SASHIDE」開催予定

- ・夏のビアパーティーを兼ねて開催検討

9月 支部会議予定—賛助会員も参加

- ・第6回デザイントークセッション「SASHIDE」について

10月 中部総会、若手建築家シンポジウム開催

「中部商空間賞」学生部門公開審査同時開催

11月 第5回デザイントークセッション「SASHIDE」開催予定

本部理事会出席予定

支部会議予定

- ・忘年会について

12月 支部忘年会開催予定

- ・賛助会員をメインゲストとした会とする
- 1月 支部会議予定
 - ・第6回デザイントークセッション「SASHIDE」について
- 2月 DSA, SDA, JCD 共同団体によるイベント開催
 - ・日本空間デザイン賞 SDA 賞パネル展示開催

⑥ 関西支部（支部長：中村裕輔）

- SD-0 大阪デザイン団体連合との取り組み（万博委員会）
- 関西支部・各員会の合同委員会の実施（月1回）
- 機関紙「JCD kansai」の発刊
- 2月6日～2月7日 空間プロデュース展への参加
大阪産業創造館にて開催
- 5月 第3回 賛助会員 NEXT GENERATION
- 9月 第4回 賛助会員 NEXT GENERATION
- 10月17日～18日 JAPAN SHOP 大阪の協力
インテックス大阪での開催のジャパンショップへの協力
USD-0 ブースでの展示
- 11月 関西学生シンポジウムへの参加
JID 主催 USD-0 共済
- 12月初旬 クリスマスイベント& 第5回賛助会員 NEXT GENERATION
- 1月初旬 絵馬展の開催
大阪デザインセンターにて USD-0 主催にて開催予定。
- 1月初旬 大阪市商店会総連盟主催 大阪市あきないグランプリ表彰式
JCD 賞の表彰
- 2月初旬 空間プロデュース展への参加
大阪産業創造館にて開催
- 未定：住まい情報センタータイアップ事業「みんなで創る商店街」
「出前授業・みんなで創る商店街」にて子供の模型創りのワークショップ。
依頼学校を募集中。

⑦ 中国支部（支部長：藤坂浩匡）

中国支部の活動方針は「会員数アップを実現し、中国支部から JCD の活性化を図る」をテーマ

に一年間活動をしてきます。2 期に渡って 12 社の賛助会員を増強しました。今期からは正会員の増強を図り、今まで以上に活性化する支部にしていきたいと思ひます。

会員数の増加は活動費の充実に繋がり、そして活発な活動が JCD ブランドの発信に大きな影響をもたらすと思ひます。JCD の価値を上げ魅力ある会へ発展する一助となればと思ひます。

また、長年開催できていなかった「SODA 事業の開催」を実現し、子供たちにデザインの素晴らしさを伝えたいと思ひます。事業には大学生も巻き込んで JCD の魅力発信をします。

そして今まで通り、いや今まで以上に他支部の事業へ出向き交流・懇親を深めて個々の成長、支部の活性を図ります。

令和 6 年度事業内容

- 組織改革・・若手正会員の増強、賛助会員との連携強化、全国メンバーとの交流
支部賛助制度を有効活用し大学生会員の増強
- 例会活動・・本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動計画立案。
親睦活動などに加え、正会員の近況報告にて賛助会員へ有意義な情報を発信する。

令和 6 年 4 月 19 日 中国支部総会及び第 1 回例会

[前年度事業報告・新年度事業計画発表・新組織発表] (岡山)

令和 6 年 6 月 21 日 第 2 回中国支部例会&ミニセミナー (福山)

令和 6 年 8 月 23 日 第 3 回中国支部例会&ミニセミナー&ビアパーティー (広島)

令和 6 年 10 月 11 日 第 4 回中国支部例会&ミニセミナー (岡山)

令和 6 年 12 月 20 日 第 5 回中国支部例会&ミニセミナー&大忘年会 (福山)

令和 6 年 2 月 21 日 第 6 回中国支部例会&ミニセミナー (広島)

- デザイン研修旅行

9 月もしくは 10 月 デザイン研修旅行 海外を予定

- 鍋塾・工場見学

2 月もしくは 3 月

- 地域活動

令和 6 年 11 月 16 日 (土) ~ 17 日 (日) 「第 19 回 JCD 中国支部デザインデイズ IN 岡山」

本年度は岡山で開催します。開催場所は前川國男氏設計の岡山天神山プラザ。

岡山県・広島県の大学・専門学校生に多く参加して頂き、学校・学生との繋がり強固なものにしたいと思ひます

開催内容：学生デザインデイズ・JCD 中国支部空間デザイン賞

・日本商空間デザイン賞展示、基調講演セミナー

- SODA 事業

開催時期は学校側と協議して決定予定。

安田女子大学の学生の協力も頂き充実した会にします。

⑧ 四国支部 (支部長：日下大祐)

1. 他団体、賛助会員と連携にてコラボ企画等にて魅力の有る会を目指す。
2. 賛助会員の増強を目指す。
3. 女性会員が集まりやすい環境を目指し支部の魅力を上げる

4. 地元四国の次世代が参加しやすい環境つくりと育成をめざす。

5. 上記にて正会員、支部会員あわせて 30 名以上、最終的には定款正会員 20 名以上を目指す。

事業予定

4 月、支部例会 お花見会開催予定

5 月、定時総会出席

6 月、支部例会予定 (総会報告)

8 月、支部例会開催予定

9 月、支部委員長会予定

10 月、11 月、支部デザインサーキット、他団体合同四国デザインフェスティバル開催予定

11 月 支部例会愛媛会員交流ツアー予定

12 月、他団体交流例会開催予定

1 月、賀詞交歓会

2 月、支部例会予定 賛助会員さまセミナー予定

4 月、お花見イベント開催予定支部例会

⑨ 九州支部 (支部長: 深町俊彦)

九州支部は、リアルで定例会を開催しています。

NPO 法人「FUKUOKA デザインリーグ」への参加を続けながら、社会貢献と勉強会などへの参加を行っていき、知名度拡大と会員増強に力を入れていきます。

九州支部の新たな事業活動の柱を作るべく活発な協議を引き続き月一の定例会を中心に行ってまいります。

又、今後も日本空間デザイン賞パネル展の充実を図る為、他団体との協調を図っていきます。

SODA 事業と少し趣を変えた支部ならではのデザインスクールキャラバンですが、今後も定例化し事業の一つの柱として行きます。

令和 6 年の年末には「デザインサーキット in 九州支部」の開催予定です。

会員増に繋がる楽しく魅力あるモノにする協議を進めて行きます。

支部例会も、正会員と賛助会員の大きなコミュのケーションを図る場として、大変有効に活用されていますので、今後も毎月の開催を基本に行い、魅力ある九州支部づくりを行なっていきます。

以下予定活動

「一年を通して、九州支部の魅力ある事業展開を図る協議を継続します。」

(1) 4 月～毎月 月例会開催 (各種賛助セミナー・勉強会・懇親会)

(2) 4 月 支部レクリエーション開催

(3) 5 月 JCD 全国総会参加

FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加

- (4) 5月 支部レクリエーション開催
- (5) 7月 ビアパーティ開催
- (6) 9月 or10月 デザインツアー開催
- (7) 11月 出前授業ワークショップ（デザインスクールキャラバン）の開催
- (8) 4月・第3回 JCD 九州ゴルフコンペ ・11月第4回 JCD 九州ゴルフコンペ
- (9) 12月 空間デザイン賞パネル展の開催
デザインサーキット in 九州支部の開催
(九州支部としてパネル展期間内にセミナーを検討中)
- (10)12月 九州支部忘年会開催
- (11)1月 九州支部新年会開催
- (12)3月 賛助企業ショールームにてミニセミナー開催

⑩ 沖縄支部（支部長：山里健市）

■R6年度の活動について

- 1. 6年度も引続き イベントの完成度を高めて JCD の認知度 UP と正会員獲得を目標とします。
- 2. 支部賛助会員との交流を深め 一体感ある支部を目指します。
- 3. SODA について 確定してはおりませんが 1～2校の開催を目指していきます。
- 4. JCD 沖縄支部の認知度向上を目指し、JCD 沖縄空間デザイン賞 入選作品＋JCD 沖縄支部 正・賛助会員のパネル展開催を計画しております。

■主な活動計画

- 1) 4～6月 ・支部定例会の開催 （4月・6月）
・異業種交流会参加（インテリア産業協会・IC協会 他）
・賛助委員会主催の工場見学・懇親会 等の計画～開催。
- 2) 7～9月 ・支部定例会の開催 （8月）
・JCD CREATERS BEACH BBQ 2023 の開催。
- 3) 10～12月 ・支部定例会の開催 （10月・12月）
・JCD 沖縄支部 正・賛助会員＋空間デザイン賞 パネル展の開催
・JCD 沖縄 忘年会「モノズクリガンバッタ 2024」開催
(建築・インテリア・グラフィック。各デザインに関係する個人・他団体と1年を振り返って。)
- 4) 1～3月 ・支部定例会の開催 （2月）
・SODA（出前授業/ワークショップ）の開催。

(3) **総務部** (部長：太細 通)

① 財務委員会 (委員長：太細 通)

令和6年度予算は、事業活動収入6,300万円、事業活動支出6,441万円で、マイナス140万円(収入比率2.2%)の赤字収支計画となります。

内訳としては、本部が162万円の赤字、10支部のうち3支部が赤字で合計35万円。7支部が黒字で合計57万円です。10支部合計では22万円の黒字の収支予算です。

特に赤字予算のほとんどを占める本部は、昨年度は94万円の黒字予算でしたが、日本空間デザイン賞実行費である設計奨励事業費が70万円増、10支部への還付金が54万円増、広報費がSNS活用等により30万円増、租税公課を30万円増等、本部の事業活動支出計は366万円増を見込んでおります。また本部の収益には職員の退職給付引当金を含んでいますので、その分を見込む必要があります。

科目別に述べますと、事業活動収入において、会費収入は昨年度予算から104万円増の3,463万円。事業収入は昨年度予算とほぼ同額の2,832万円の予算としています。主たる事業収入は設計奨励事業(日本空間デザイン賞)収入1,055万円。及び展示会収入770万円です。これは一昨年度より主催の日経新聞社さまの配慮でJapan ShopでJCD独自のブースを設けるようにしておりますが、今年度もその造作費全額550万円を協賛いただく予定です。事業活動支出においては、昨年度予算より合計314万円の増となります。増額の内訳は今年度総会で永続在籍会員の表彰をおこないますがその費用が新規に190万円、設計奨励事業費が70万円増、各支部での研究会費が54万円増、総会・支部長会が48万円増、各支部での広報費が35万円増等です。事業費支出が大きいのは設計奨励費(日本空間デザイン賞)が790万円、Japan Shopでの独自ブース等の展示会費が720万円、企業奨励費(プロダクトオブザイヤー)が375万円、等です。

結果、収支差額は140万円の赤字で昨年度の76万円の黒字予算より216万円減、事業活動収入比率では3.4%の減になります。

また正会員の会費収入は昨年度予算と比べますと1万円減とほぼ同額ですが、賛助会員の会費収入は全国・支部合わせ105万円、約6%増です。

基本的に会費が事業活動の主たる源泉ですので、今後も更なる会員増強での会費収入増を図らないかぎりはこのからの大きな事業活動は望めません。昨年度同様会員増のためには本部、支部とも留保金の活用方法などを考えていく必要があるかと思えます。皆さんで知恵を絞り会員増強を図っていきましょう。

② 功労者選考委員会 (委員長：星 明臣)

当委員会の主務は、当協会／特別功労賞表彰規定などに則り、「JCD 功労賞・支部功労賞」「評議員」「顧問・参与」の候補者を会員から募り、推薦された各候補者の貢献度などの与件を審議し、該当する候補者を、理事会に推挙します。一方、JCD への社会的認知度や、地位向上策の一環として、継続的に「国交省大臣表彰」の候補者を選考し、理事会へ推挙しております。肝要なことは、誤謬なき・適正な推挙を心がけることです。

尚、当委員会は、小坂副理事長、太細専務理事、小田理事、奥平評議員、鹿目評議員、寒川評議員、金沢評議員、星の8名で構成されています。

3. その他会務に関する事項

(1) 功労賞表彰

令和6年度功労賞を以下の方に贈呈することを決定した。

特別功労賞受賞者

長谷川 演正会員（北海道支部）

往蔵 稲史仁正会員（関東支部）

星 明臣正会員（関東支部）

支部功労賞受賞者

菊地 一彦正会員（関東支部）

長尾 勝彦正会員（四国支部）

(2) 関係機関や団体との交流、その他の事業へ後援や協賛など

公益社団法人商業施設技術団体連合会、空間デザイン機構及びインテリア デザイン ミーティング（略称 IDM）への運営参加、一般社団法人日本空間デザイン協会との協働事業である日本空間デザイン賞の推進、また新規事業及び継続して行われる各事業の後援、協賛を通じ積極的かつ実のある活動を目指す。